

社会福祉



フリースペース「こころね」P12

トピックス



- 2026年度事業計画、予算 P2・3
- 2026年度赤い羽根作品コンクール P5
- 講座受講者募集 P6・7
- 2025年度福祉体験作文コンクール優秀作品紹介 P8・9
- ボランティア紹介リレー「蛙家」 P13
- 2026年度新入職員紹介 P15

社会福祉法人 一宮市社会福祉協議会

2026年度 事業計画 (要約)

少子・高齢化・人口減少に加え、8050問題・ひきこもりなど、複雑化・複合化した課題が顕在化しています。そこで、その課題解決に向け、住民や地域のさまざまな主体が「我が事」として参画して「丸ごと」つながり、一人ひとりの暮らしと生きがいをともに創っていく地域共生社会の実現が望まれています。そのため、本会は地域生活課題の解決に向け、「包括的な支援体制」の整備を進めながら、きめ細やかな地域福祉活動を展開してまいります。

みんながつながり、支え合い、地域が織りなす共生社会の実現をめざし、以下の基本方針により地域福祉の充実に取り組みます。

<基本方針>

1.地域課題への対応

- ・ 成年後見支援センター事業では、制度を周知し、利用促進を図りながら、権利擁護支援の地域連携ネットワーク構築に向けて取り組みます。
- ・ 日常生活自立支援事業では、制度の周知に努め、判断能力が十分でない方が自立して生活できるよう支援します。
- ・ 重層的支援体制整備事業として、「属性を問わない相談支援」、「多様な参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する包括的な支援が円滑に進められるよう多機関協働体制の強化に努めます。
- ・ ちょこボラサービス事業等により住民主体の福祉のまちづくりをめざし、地域での生活支援の仕組みづくりを関係機関と連携して進めます。

2.地域福祉活動の推進

- ・ 地域住民による地域の実情に合わせた市内23連区の支会活動を推進し、地域福祉事業の充実に図ります。
- ・ ボランティア活動の普及・啓発を行うとともに、各種ボランティア講座等を開催し、ボランティアの育成に努めます。
- ・ 障害者、高齢者、子どものみならず、誰でも一緒に参加できるスポーツ(ユニバーサルスポーツ)の普及に努めます。

3.介護サービスの経営

- ・ ITツールの導入により業務の効率化を図り、収支改善を進めることで健全な経営に努めます。
- ・ 研修体制の充実に努め、職員の資質向上に努めます。
- ・ 利用者から信頼される質の高いサービスを提供します。

4.法人運営の強化

- ・ 事業運営の強化および透明性の向上、職員の資質向上を図り、広報紙、ウェブサイト、SNS等を活用した情報発信により、本会の事業内容を広く周知し、信頼される法人運営に努めます。
- ・ 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練等を実施し、職員の災害時における危機管理意識を高めます。

2026年度 資金収支予算

収 入

(単位：千円)

補 助 金	237,286
介護保険・障害福祉サービス等	154,884
受 託 金	85,139
会 費	50,455
繰 入 金	27,160
寄 付 金 そ の 他	204,288
前期末支払資金残高	47,367
合 計	806,579

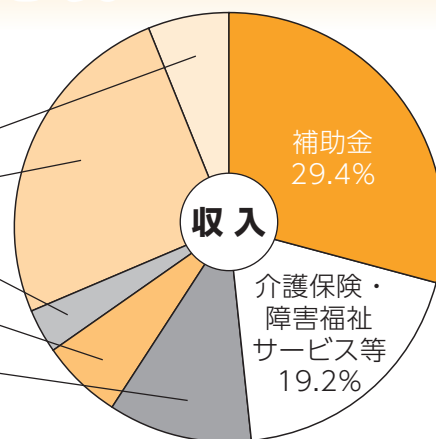
前期末支払資金残高 5.9%

寄付金その他 25.3%

繰入金 3.4%

会費 6.2%

受託金 10.6%



支 出

(単位：千円)

居 宅 介 護 等 事 業	320,634
法 人 運 営 事 業	193,571
一宮市受託事業	75,156
地域福祉活動推進事業	50,500
居 宅 介 護 支 援 事 業	42,424
共同募金配分金等事業	32,568
貸 付 事 業	21,266
福祉サービス利用援助事業	16,243
ボランティアセンター活動事業	8,945
基金運営事業他	27,517
当期末支払資金残高	17,755
合 計	806,579

当期末支払資金残高 2.2%

基金運営事業他 3.4%

ボランティアセンター活動事業 1.1%

福祉サービス利用援助事業 2.0%

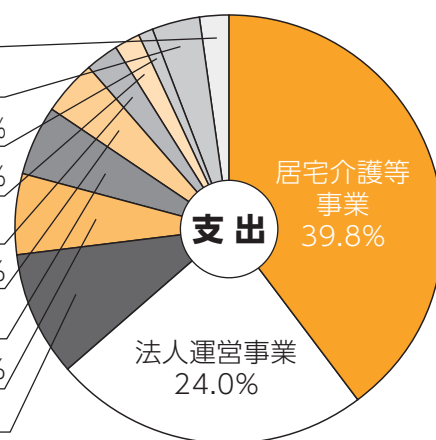
貸付事業 2.6%

共同募金配分金等事業 4.0%

居宅介護支援事業 5.3%

地域福祉活動推進事業 6.3%

一宮市受託事業 9.3%



善意のご寄付 ありがとうございました

2025年12月1日～2026年3月31日現在

合計464,618円

(敬称略・順不同)

(株)一宮看板店 / ダイセーロジスティクス(株) / 山中 信彦 / エス・ビー建材(株) / 豊田合成(株) 尾西工場 / 一宮起工科高等学校 生徒会 / 坂井田ビル / ASC一宮27 / 木曽川商工会 女性部 / (株)壺番屋 / 一宮地区ボランティア集団 / 他匿名5件

速報!! 2027年4月採用 一宮市社会福祉協議会職員を募集します

▼職 種／一般事務(総合職)

▼応募資格／①1991年4月2日から2005年4月1日までの生まれで、大学を卒業または2027年3月に卒業見込みの方
②普通自動車運転免許を有する方(2027年4月1日時点での保有者も含む)

▼採用人数／若干名

○上記募集の詳細は、2026年10月号「いちのみやの社会福祉」および本会ウェブサイト等に掲載します。



ご協力ありがとうございました!

赤い羽根共同募金報告

街頭募金の様子



(実施期間:2025年10月1日~2026年3月31日)

募金種別	目標額(円)	募金額(円)	達成率(%)
戸別募金	31,000,000	25,133,636	81.1
法人・個人大口募金	8,600,000	6,801,600	79.1
学校募金	1,400,000	1,066,956	76.2
街頭募金	500,000	430,240	86.0
職域募金	400,000	356,158	89.0
イベント・窓口募金等	500,000	519,545	103.9
合計	42,400,000	34,308,135	80.9

お寄せいただいた募金については、愛知県共同募金会に全額送金した後に、計画に基づいて、一宮市社会福祉協議会へも配分され、市内の生活課題や地域課題を解決するためのさまざまな福祉活動(※)に活用されます。また、県内の社会福祉施設への支援や災害時における「災害ボランティアセンター」の設置・運営など、被災地支援にも役立てられます。

皆さまからのご協力が、地域の福祉活動を支え、さまざまな生活課題の解決につながっています。心より感謝申し上げます。

※福祉活動の一例:ふれあい・いきいきサロン活動助成、福祉実践教室、おもちゃ図書館運営など

多額のご寄付をいただいた法人・個人の皆さまに、感謝状が贈呈されました。

中央共同募金会会長 大野 哲男

愛知県共同募金会会長 大成中学・高等学校 / 一宮市職員労働組合 / (株)マサノ / (有)マガジン / (株)星和 ミカドグループ / (一社)一宮市医師会 / 鈴木 日出男 (敬称略・順不同)

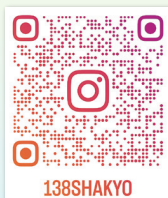
赤い羽根共同募金(テーマ型)最終実績のご報告 ～地域で備える災害に強いまちづくり～

一宮市災害ボランティアセンターの設備充実を目的としたテーマ型募金に対し、多くの皆さまから温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。

2月10日にバロー一宮西店で実施した街頭募金や、インターネットからの募金などを通じて、目標額(200,000円)に対し、184,474円(達成率92.2%)の募金をお寄せいただきました。心より感謝申し上げます。

皆さまからお寄せいただいた募金は、災害ボランティアセンターの運営に必要な「スポットクーラー」と「発電機」の購入費用として、全額大切に活用させていただきます。現在、配備に向けた準備を進めております。配備されましたら改めて本会公式Instagram等にてご報告いたします。

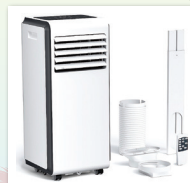
本会公式Instagramはこちら⇒



138SHAKYO



2月10日街頭募金



スポットクーラー



発電機

第78回 (2026年度)

赤い羽根作品コンクール



募集期間 **7月1日(水)** **8月14日(金)**

受付 9:00~17:00(土日、祝日除く)

募集作品

書道の部

- ・小学校3・4年生
「ぼきん」「赤いはね」「たすけあい」から1点
- ・小学校5・6年生
「共同募金」「赤い羽根」「思いやり」から1点
- ・中学校1~3年生
「共同募金運動」「赤い羽根募金」「地域福祉活動」から1点

<注意点>

- ①用紙は書道用半紙とする。
- ②書体は随意、墨書でたて書きとする。
- ③左側に学年、名前を墨書する。

ポスターの部

- ・小学校1年生~中学校3年生
「たすけあい」「社会福祉」「赤い羽根」「共同募金」などの意味を含んだもの

<注意点>

画用紙の大きさは四つ切(54cm×38cm程度)とする。
規格以外の画用紙を使った場合は対象外となります。

- ☆応募作品は各部とも1人1点に限ります。
重複して提出しないようご注意ください。
- ☆優秀作品は展示をいたします。

注意点

- ◎市内在住または在学の方が対象です。
- ◎下記の申込書を本会ウェブサイトからダウンロードし、作品の裏面右下に貼り付けてください。
- ◎作品の返却はしませんので、ご了承ください。
- ◎直接窓口にご提出ください。(郵送不可)
※提出先は下記①~③です。8月14日(金) 17:00までにご提出ください。

- ①本部
栄3-1-2
尾張一宮駅前ビル (i-ビル) 4階
- ②尾西支部
東五城字備前12 尾西庁舎4階
- ③木曾川支部
木曾川町黒田字西沼51
高齢者生きがいセンター1階

みなさまのご応募
お待ちしております!

赤い羽根作品コンクール申込書		
ふりがな		
氏名		
住所	〒 見本	
電話番号		
学校名	学年	

一宮市共同募金委員会
社会福祉協議会内



一宮市栄3-1-2
尾張一宮駅前ビル(i-ビル)4階

Tel 85-7024



講座受講者募集!



文字で伝えるボランティア講座(全5回)

「聞こえない言葉」を「目で見える言葉」にして伝えてみませんか?

日時	6月30日～8月4日 毎週火曜日 13:30～15:00 ※ただし、7月21日は除く
会場	尾西庁舎4階 会議室(東五城字備前12)
対象	市内在住・在勤で要約筆記に興味のある方
定員	10名(応募多数の場合は抽選。抽選結果はメールにて6月19日頃通知予定)
参加費	無料
申込み	下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームで応募、 または尾西支部 (Tel63-4800) へ連絡 https://forms.gle/C3yUUnZqx1uqJ4pUA 期間：6月12日(金)まで



手話奉仕員養成講座(入門)(全20回)

初心者・未経験者向けの講座です。
一緒に手話を覚えましょう♪

日時	7月1日～11月25日 毎週水曜日 19:00～21:00 ※ただし、8月12日、9月23日は除く
会場	尾西庁舎4階 会議室(東五城字備前12)
対象	市内在住で、聴覚障害の福祉に理解と熱意を持ち、受講後は手話奉仕員として活動できる方
定員	20名(応募多数の場合は未受講の方を優先し抽選。抽選結果はメールにて6月19日頃通知予定)
参加費	4,290円 (テキスト代)
申込み	下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームで応募、 または尾西支部 (Tel63-4800) へ連絡 https://forms.gle/tAM5JfNg2uAkwwz2A 期間：6月16日(火)まで



手話奉仕員養成講座(基礎)(全25回)

手話を使って日常会話ができるようにレベルアップを目指しましょう。

日時	6月23日～12月22日 毎週火曜日 10:00～12:00 ※ただし、8月11日、9月22日は除く
会場	尾西庁舎4階 会議室(東五城字備前12)
対象	市内在住で、手話奉仕員養成講座(入門)を受講した方、または、同等の知識及び技術を有する方。 聴覚障害、聴覚障害者の生活等の理解を更に深め、手話の技術を身に付けたい方。
定員	20名(応募多数の場合は抽選。抽選結果はメールにて6月12日頃通知予定)
参加費	4,290円 (テキスト代) ※入門講座を受講済みですすでにテキストをお持ちの方は不要です。
申込み	下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームで応募、 または尾西支部 (Tel63-4800) へ連絡 https://forms.gle/cJGaELW8oKNq7Rdf6 期間：6月9日(火)まで



はじめての点字講座(全5回)

「点字って難しそう…」そんなイメージを持っている方はいませんか? 本講座は、初心者でも安心して受講できる内容です!

日時	6月24日～7月22日 毎週水曜日 9:30～11:30
会場	社会福祉協議会 本部(栄3-1-2 尾張一宮駅前ビル4階)
対象	市内在住・在勤で点訳、ボランティア活動に興味のある方
定員	10名(応募多数の場合は抽選。抽選結果はメールにて6月12日頃通知予定)
参加費	770円 (テキスト代)
申込み	下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームで応募、 または本部 (Tel85-7024) へ連絡 https://forms.gle/wg6HV3gq33eaFtkD8 期間：6月9日(火)まで





こども向けボランティア講座



※申し込みは児童と保護者がよく相談し、必ず保護者が行ってください。

夏休みこども点字教室(全5回)

自分の好きな絵本で点字の本を作ってみよう!

日時	7月23日～8月27日 毎週木曜日 9:30～11:30 ※ただし、8月13日は除く
会場	高齢者生きがいセンター2階 集会室(木曾川町黒田字西沼51)
対象	市内の小学5・6年生 点字に興味のある児童
定員	12名(応募多数の場合は初参加の6年生を優先し抽選。抽選結果はメールにて7月2日頃通知予定)
参加費	無料
申込み	下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームで応募、 または本部 (Tel85-7024) へ連絡 https://forms.gle/JLVT7ERFjAVmD9BG7 期間：6月26日(金)まで



夏休みこども手話教室(全5回)

手話で自己紹介にチャレンジしてみませんか?

日時	7月29日～8月26日 毎週水曜日 14:00～15:30
会場	尾西庁舎4階 会議室(東五城字備前12)
対象	市内の小学5・6年生 手話に興味のある児童
定員	20名(応募多数の場合は初参加の6年生を優先し抽選。抽選結果はメールにて7月3日頃通知予定)
参加費	無料
申込み	下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームで応募、 または尾西支部 (Tel63-4800) へ連絡 https://forms.gle/xxLMPz3rMyDpPt9D8 期間：6月26日(金)まで



こどもボランティアスクール(全4回)

ボランティア活動や福祉体験を行いながら、みんなで楽しく「ふくし～ふだんのくらしのしあわせ～」について学びましょう。

対象：市内の小学5・6年生 / 定員：20名(応募多数の場合は抽選)※最少催行人数10名
参加費：500円 / 申込期間：7月3日(金)まで

下記URLもしくは右記二次元コードから申込みフォームで応募、
または尾西支部 (Tel63-4800) へ連絡
<https://forms.gle/CZqJa35GZ5rw7vxN6>



日時	体験内容	会場
8月23日(日) 9:30～15:00	①福祉体験 目や耳の不自由な人と一緒にカレーを作って食べよう	尾西庁舎 5階 調理室
9月23日(水・祝) 9:30～12:00	②ユニバーサルスポーツ体験 「車いすツインバスケット」をやってみよう	いちい信金中央アリーナ (いちのみや中央プラザ体育館)
10月24日(土) 25日(日) 9:30～12:00 ※どちらか一日のみの参加でも可。	③ボランティア体験 「赤い羽根共同募金」の街頭募金をお手伝い	尾西市民会館 (びさいまつり会場) 周辺
11月15日(日) 9:30～12:00	④ボランティア探検隊 「まちのやさしさ」を探してみよう	尾張一宮駅前ビル (i-ビル)4階

※都合により、内容や場所を一部変更する場合があります。

「弟の笑顔が教えてくれたこと」

一宮市立西成東部中学校

2年 大野 未愛さん



私の弟は知的障害のダウン症を持っています。弟の見た目は、少しつり目で、目と目の間隔が広く、普通の人とは少し異なっています。また言語の理解が遅いなど、発達のスピードがとてゆつくりです。

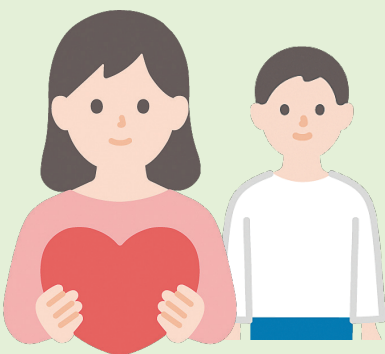
ある日、弟と家族でお出かけに行きました。弟は大好きな本屋を見て、笑顔で走っていました。私が弟を追いかけたとき、近くにいた小学五年生くらいの男の子とお母さんの声が聞こえてきました。「ねえ、あの子変だね、かわいそう。」その言葉を聞いた瞬間、私は心の中がざわつきました。弟は言葉を理解する力があまりなかったので、何もなかったようにニコニコしていました。私の心にその言葉が深く刺さりました。弟は何も悪くない。ただ自分らしく楽しんでいただけなのに。なぜ「変だね。かわいそう。」と言われなければならないのか悔しくて悲しくて、その親子に何も伝えられなかった自分にも腹が立っていました。弟のことをそんなふうに見ていた人がいたと思うと、胸が、今にもはち切れそうなくらい悔しくなりました。学校へ登校しても、私はずっとその言葉が頭から離れません。どうしてそんなふうに言われるんだろう。先生に話すと、少し驚いた表情をして、静かに言いました。「昔から、そういう目で見ると、悪気があって言うとは限らないと思う。知らないから、そう思うってしまう人もいるんだよ。」その言葉を聞いて、私は少し冷静になりました。確かに、私も弟と暮らしていません。障害についてちゃんと考えたことがあったかどうかわかりません。「知らない」ということが悪気のない言葉で簡単に人を傷つけてしまうこともある。そう気づくことができました。

その後、学校で福祉実践教室があり、車いす体験や、聴覚障害について学ぶことができました。動けない、聞こえない、ということだけでこんなにも不便なんだと知ることができ、とても良い経験ができました。同時に、弟も日々また違った不便や困難と闘っているのだと、改めて気づきました。少しだけ、弟の気持ちに近づけた気がしました。弟は、言葉でうま



く伝えられない分、表情やしぐさで気持ちを伝えてくれます。笑っていると、うれしいことがわかるし、表情が暗いと怒っていることがわかります。私が落ち込んでいると、一緒に遊んでくれることもあります。そんな弟の存在に、私は数えきれないほど救われてきました。私は、弟がいることで、思いやりについて深く学びました。そして、自分と違う人の気持ちを考えることの大切さを知りました。弟は「できないこと」よりも「できること」がたくさんあります。人を笑顔にする力、その場を明るくする力、それは誰もができるとは限らない弟だけのすごい力だと思っています。だから私は、誰かがまた「かわいそう」など言ってきたときには、「弟は、かわいそうなんかじゃない。すばらしい心を持った、自慢の弟です。」とはっきり伝えたいと思います。そしてその言葉が、少しでもその人の心に届いてくれたらいいなと思います。また少しでも多くの人に障害について知ってもらうために恐れず、弟のことや福祉実践教室で学んだことを伝えていきたいと思いました。

この出来事を通して私は、「違い」は決して悪いことではないと改めて気づきました。そして、「違い」を知り、認め合うことが福祉にとって大切な一つだと思っています。弟は私にとって世界でいちばん大切な存在です。弟と過ごす日々の中で、私は多くのことを学び、優しさや思いやりの気持ちを考える力を教えてもらいました。もし、弟がいなければ、私はこんなふうになんか人に寄り添おうとは思えなかったかもしれませぬ。弟が私の人生にいてくれること、それは私にとって、大切な大切な宝物です。これからも、弟と一緒に笑って、泣いて、手を取り合って生きていきたいと強く思いました。いつか弟が困っているときには、誰かがそっと手を差し伸べてくれる、そんな優しい社会になってほしいと心から願っています。私も誰かの力になり、たくさんの人々を救うことができるように成長していきたいと思えます。私は最高の弟と過ごすことができないこの時間を、これからも大切に生きていきたいと感じました。



2025年度 福祉体験作文コンクール優秀作品

このコンクールは、児童・生徒がボランティア活動などの体験を通し、感じたことや考えたことを表した作文を募集したものです。愛知県社会福祉協議会での審査の結果、一宮市から2編が優秀作品として入選しましたので、紹介します。
※2025年度時点の学校・学年です。



「認知症キッズサポーター」

一宮市立丹陽小学校

5年 吉田 旭冨さん



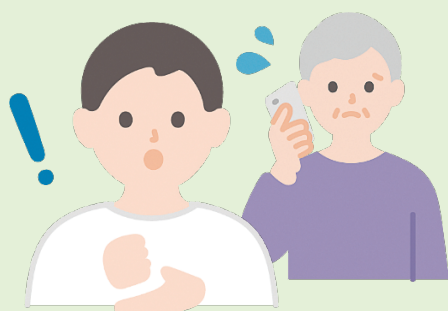
「認知症サポーター養成講座」に参加してぼくは、「認知症キッズサポーター」になりました。「認知症キッズサポーター」とは、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り、声かけやちょっとした手助けができる小学生のことです。

認知症は、さまざまな原因で脳の細ぼうが死んでしまったり、働きが悪くなったりするためにおこる脳の病気によるものです。ものわすれがひどくなったり、できていたことができなくなり、今までのような生活がおくれなくなりします。

認知症の人への接し方として、「おどろかせない・いそがせない・相手がいやだと思うことを言わない。」認知症の人は、「後ろから急に話しかけられると、だれだかわからなくてびっくりします。正面からゆっくりと話しかけてあげる。」元気がなくなったり、とつぜんおこりだしても、やさしいことをかけてあげる。うまくしゃべれないだけで、「もしかしたら何か言いたいことがあるかも」と相手の気持ちを考え、日ごろからのあいさつが大切。認知症とは、どんな病気なのかと、色々学びました。今のぼくは、周りの人に言われてから動いていることが多く、こまっている人がいても気付かず、すぐに助ける事ができていません。

認知症になると、つらいこともあるけれど、家族や友だちがいるとつらい事も乗り越える事ができると、認知症の方から教えてもらいました。

ぼくの家族にも、認知症の人がいます。認知症の人への接し方についてちゃんとできていないか分かりません。ぼくができない事もたくさんあります。でも認知症の人を直接助ける事だけでなくサポートをしている家族やまわりの人を助ける事も「認知症キッズサポーター」の役目だと学び、これからは、周りを見て、「何をしようとしているか？助けが必要か？」をぼくなりに考え、家族や身近な人を見守り、こまっている人に勇気を出して声をかけて助けてあげたいです。それが「認知症キッズサポーター」としての、ぼくの役目だと思います。



愛知県社会福祉協議会ウェブサイトでは、
入選したその他の優秀作品も掲載されて
おります。ぜひご覧ください。





優秀作品はこちら→

URL : <http://aichivc.jp/education/contest.html>

ちょこボラサービス説明会

ボランティア活動やちょこボラサービスを知りたいという方はぜひお気軽にご参加ください。

日 時	7月2日(木)13:30~14:30、7月3日(金)10:00~11:00	
会 場	社会福祉協議会 本部 (栄3-1-2 尾張一宮駅前ビル4階)	
対 象	ちょこボラサービスの協力会員としての活動に興味のある方	
定 員	各日20名(応募多数の場合は抽選。抽選結果はメールまたは電話にて6月26日頃通知予定)	
参 加 費	無料	
持 ち 物	筆記用具	
申 込 み	下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームで応募、 または本部(Tel.85-7024)へ連絡 https://forms.gle/n1nMMo95s45spk836 期間：6月24日(水)まで	
そ の 他	・説明会は2回とも同じ内容です。どちらかにご参加ください。 ・ちょこボラサービスの詳細については、下記URLまたは右記二次元コードからご覧ください。 https://www.138sk.org/index.php/a/25-vc/182-chokobora	

成年後見制度ってなあに??

第1回

～後見人等ってだれがなるの?～

成年後見制度とは、認知症や障害などにより判断することが難しくなった方に対し、銀行での手続きや介護サービスの契約などを支援するため、家庭裁判所が選任した後見人等*がサポートを行う制度です。今回から一宮市成年後見支援センターに寄せられるご相談の中から、よくあるご質問について、複数回にわたりわかりやすくご紹介していきます。*後見人等：任意後見人・補助人・保佐人・成年後見人等を含む

Q

後見人等には、どのような人がなるのですか？



A

本人のためにどのような支援が必要かといった個別の事情に応じて、家庭裁判所が選ぶこととなります。ご本人に法律上又は生活面での課題がある、複雑な資産の管理が必要であるなどの事情が判明している場合には、弁護士、司法書士、社会福祉士など、専門的な知識を持っている方が後見人等に選ばれることがあります。複雑な問題がない場合は、親族の方(配偶者や子、兄弟など)が後見人等になることもあります。



◆知っておきたいポイント

申立ての際には後見人等の候補者の希望を伝えることもできます。ただし、最終的には家庭裁判所の判断となるため必ず選ばれるとは限りません。2025年の統計によると、親族が後見人等になっているケースは全体の約16.4%となっています。割合は少ないですが、親族が選ばれにくいということではなく、身寄りがいない又は頼れる親族がいない方が増えており、後見人等の候補者として親族を希望して申し立てるケースの割合が少ないようです。

◆制度についてより詳しく知りたい方は、下記へお気軽にご相談ください。

【問合せ】 一宮市成年後見支援センター(社会福祉協議会内) Tel.85-8828

支えあい通信



2025年度は、丹陽町・今伊勢町・朝日連区で地域支え合い研修を実施しました。その中で、地域で行われている活動に魅力を感じ、朝日連区で活動している場を見学させていただきました。

地域支え合い研修から見てきた地域のつながり



月曜会

地域の男性が集まり、毎週月曜日に健康麻雀の活動を行っています。組合や老人会の減少により「気軽に集まれる場が必要」と感じたことをきっかけに始めました。

認知症予防としての効果も期待される麻雀ですが、「顔を見に来た」「麻雀がしたい」など、参加の理由はさまざまです。

麻雀に集中する時間を共有する中で、男性同士の自然なつながりが生まれています。



日時：毎週月曜日 12:30～16:30
※ただし、第5週目を除く

対象：朝日連区内の方
場所：旧萩蓮保育園跡地 →
(萩蓮ちびっこ広場南)
参加費：月額500円(会場費)



男の料理教室

毎月、朝日公民館で料理教室を開催しています。

この日は、豚肉と野菜の旨辛スタミナ丼など3品を作りました。参加者の中には「未経験でしたが、参加するようになってから自宅でも料理に挑戦する

ようになった」といった声も聞かれます。

先生に教わりながら、和やかな雰囲気の中で交流が生まれており、参加することが楽しみの一つとなっています。



日時：毎月第2木曜：いきいきクッキング
第4水曜：はつらつクッキング
どちらも9:30～13:00

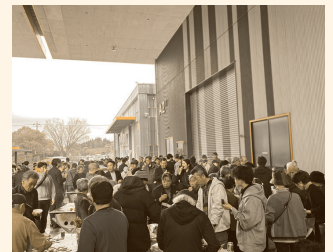
場所：朝日公民館 調理室
参加費：1,000円



朝日連区に拠点を置く株式会社山田ドビー

株式会社山田ドビーが開催するお花見会に、地域の方がご招待されました。当日は花散らしの雨になりましたが、ビンゴ大会やBBQを通して交流を深めていました。社員の皆さまが積極的に準備や運営に関わってくださり、地域のボランティアの方々もヨーヨーすくいや巣箱づくりなどを通して、社員のお子さんと交流され、企業と地域住民が顔の見える関係を築いていくことの大切さを感じる機会となりました。

株式会社山田ドビーは、高速精密プレスの開発・製造、工法開発及び専用設備の開発・製造をしている企業です。



今後も地域支え合い研修を継続して開催していきます。研修を開催することで、普段の暮らしに溶け込んでいる自然なつながり＝支え合いを再認識し、共有することで、もともとある地域の強みについて理解を深めていく機会となっています。興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

また、地域の中での活動や取り組みについて、紹介したいことがございましたら、ご連絡お待ちしております。【問合せ】 本部 Tel85-7024





ふらっと立ち寄れる居場所

フリースペース「こころね」OPEN




木曽川に、どなたでも気軽に立ち寄れる
フリースペース「こころね」がオープンしました。


妙君寺を会場に、傾聴ボランティアや地域の支援団体
等様々な方が協力して運営しています。


お話をしたり、静かに過ごしたり…
その日の気分で自由に過ごせる場所です。


「誰かと話したい」「少し外に出たい」
そんなときに、ふらっとお立ち寄りください。


開催日

 毎月第2水曜日

 14:00～16:00

 妙君寺
(木曽川町黒田錦里11)

 参加費100円

 予約不要

本堂にはオリジナルのステンドグラス



「こころね」という言葉には「本当の自分。生きやすい私。」という意味を込めました。お寺という祈りの空間で、皆さまに安心を得ていただきたい。心地よい交流の中で、人生のキッカケをつかんでいって欲しい。そんな想いではじまりました。

地域の皆さま、支えてくださる多くの方々のおかげで、この場をひらくことができています。皆様にお会いできることを楽しみにしております。

妙君寺 加藤雄燈 (住職)

フリースペースとは、安心できる場所で、話を聴いてほしい、相談をしたい、交流をしたい、ゆっくり過ごしたい等、人生のきっかけがある場所です。どなたでもお越しいただけます。

ご希望の方は、住職や傾聴ボランティアとして活動しているスタッフがお話を伺います。

こころねの活動は、「一般社団法人こころの保健室ひだまり」が主催しており、宗教的な活動ではありません。フリースペース及びその立ち上げに関心のある方がみえましたら、社会福祉協議会までお気軽にお問い合わせください。【問合せ】 本部 Tel.85-7024



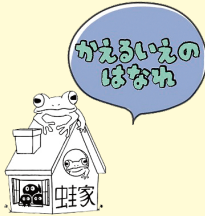
ボランティア紹介リレー

第38回

今回は『子どもの多様な学びを考える会@いちのみや』さんからの紹介で『蛙家(かえるいえ)』さんをご紹介します!

3月25日(水)に開催された調理実習取材し、代表の廣岡さんからお話をうかがいました♪

「蛙家」とは?



「蛙家」は、居場所「かえるいえのはなれ」の運営をしている団体です。学校に行っている・行っていないに関わらず、子どもも大人も安心して過ごせる場づくりをしています。自分の子どもの不登校をきっかけに、同じように悩む親子がホッとできる場所をつくりたいという思いから始めました。「蛙家」という名前は、蛙が好きという理由と、蛙家(かえるいえ)の音に「帰る家(かえるいえ)」という意味を重ねて名付けました。ここに来ると少し力が抜け、自分のペースに戻れるような場を目指しています。はじめは緊張していた子が少しずつ笑顔を見せてくれたり、「また来たい」と言ってくれたりする瞬間がとても印象に残っています。また、保護者の方から感謝の言葉をいただくことも多く、安心して過ごせる時間の大切さも感じています。

調理実習レポート

浅井公民館調理室で調理実習を行い、15名の親子が参加しました。はかりでいろいろなものの重さを量るなどして過ごしたあと、ホットケーキ作りに取り組みました。2グループに分かれて協力しながら調理を進め、粉だらけになったりしながらも無事に焼き上がりました。思い思いにトッピングやデコレーションを楽しみ、にぎやかで笑顔あふれる時間となりました!



今後について!

5月から新たに畑の活動「けろけろふぁーむ」を始めました。土に触れ、育てる体験を通して、ゆったりとした時間を一緒に過ごせたらと思っています。今後も、無理なく参加できる居場所づくりを続けていきます。

最後にひとこと!

蛙家は、元気なときも、少し疲れているときも、そのままでも来られる場所です。必要なときに思い出していただけたら嬉しいです。どうぞお気軽にお立ち寄りください。



「蛙家」さんInstagramリンク⇒

https://www.instagram.com/kaeruie_0412/
※最新情報はリンクからInstagramをご確認ください。



「かえるいえのはなれ」 Instagramリンク⇒

https://www.instagram.com/kaeruie_hanare/



おすすめ福祉の本

ありがとう、フォルカーせんせい



図書館で借りることができます。

パトリシア・ポラッコ 作・絵 香咲弥須子 訳 岩崎書店

トリシャは絵を描くことが大好き。小学校5年生になっても満足に字も読めなかったけれど、「みんなとちがうってことは、いちばんすてきなことじゃないか」と、あるがままを受け止め包み込んでくれる家族や先生との出会いによってLD(学習障害)を克服。

子どものための本を書き、世界中の子どもたちに自信と勇気、生きていく希望を与えている作者の素晴らしい自伝的なおはなしです。LDの心のさけびと感動の出会いが描かれた絵本で、子どもも大人も、あたたかい気持ちで読み終えることができます。

認知症は、年齢を重ねれば、誰もがその当事者になりうる社会全体の課題です。だからこそ、家族や専門家だけで対応するのではなく、地域に暮らす一人ひとりが、少しずつ力を寄せ合うことが大切になってきます。

最終回は、認知症の方の暮らしを社会で支えることについて考えてみます。

本人の思いを大切に

認知症の方には、忘れやすさや戸惑いはあっても、できることや望む暮らしがあります。「その人らしく」あるために必要なのは、特別な支援よりもその人の思いに耳を傾けることです。本人のできることは大切にしながら、困っている様子があれば、「お手伝いしましょうか」とさりげなく声をかけ、寄り添う。そんな小さなかわりから始めましょう。



専門職の連携

認知症の方と家族を支えるには、医療、福祉、行政などの専門職がそれぞれの分野で力を発揮しながら、切れ目のない支援を行うことも大切です。

地域で広がる“支えあい”の輪

認知症カフェでの交流

認知症の方やその家族、地域の方などが気軽に集える場です。日頃の不安や困ったことなど気持ちを分かち合い、気分をリフレッシュできます。



市内の認知症カフェ⇒
(一宮市ウェブサイトより)



認知症サポーターの養成

一宮市では、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりのため、市民を対象に、認知症を正しく理解し、認知症の方や家族を支える認知症サポーター養成講座を開催しています。

その他にも地域の人や学校、企業、行政などがゆるやかにつながり、認知症の方を気にかけて見守るネットワークが広がることで、認知症の方や家族が安心して暮らし続けることができます。

私たち一人ひとりができること



- ・ 認知症について正しく知る
- ・ 困っている人に声をかける
- ・ 地域の見守り活動に参加する
- ・ 認知症サポーター講座を受けてみる
- ・ 気になる人を相談窓口につなぐ など

「支える」ことを難しく考えすぎずに、こうした小さな一歩を積み重ねることが大切です。



認知症は、誰か一人が背負うものではありません。家族や専門職だけでなく、地域に暮らす一人ひとりが力を寄せ合うことで、認知症になっても自分らしく暮らせる未来が開けてきます。「支える側」も「支えられる側」もいつか入れ替わる時がくるかもしれない。だからこそ「認知症」を「自分事」として考えることが、支えあいの第一歩です。



※一宮市内の認知症に関する取り組みは、一宮市のウェブサイトをご覧ください。⇒





2026年度 新入職員紹介

氏名(ふりがな)

①趣味 ②好きな食べ物 ③性格

今春、新たに4名が一宮市社会福祉協議会の職員として加わるようになりました。皆さんに早く顔と名前を覚えていただくため、簡単ですが紹介させていただきます。

小島 綾 (こじま あや)

- ①旅行
- ②メロン
- ③マイペース

神戸 あづみ (かんべ あづみ)

- ①パン屋巡り・筋力トレーニング
- ②ベーグル
- ③穏やか



近藤 紘子 (こんどう ひろこ)

- ①読書
- ②餃子
- ③前向き

石田 真優 (いしだ まゆう)

- ①料理・ドライブ
- ②イカスミパスタ
- ③シャイ

一宮市の皆さまとのつながりを大切に、安心して心地よく暮らせるよう精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

車いす
使用の職員
発信

車いすといっしょに



第28回「書類の持ち運び」

デスクワークが多い私は、用具を使い分けながら、日常的に書類の持ち運びや管理を行っています。最も頻繁に使用するのが“クリアファイル”で、置き場

所をさほど取らないのが利点です。用紙1枚など、量が少ないときは膝の上や車いすの座面脇に置いたまま移動することもあります。

また、チャックや蓋がついたケースに入れておくのも便利です。書類の出し入れに多少時間はかかるものの、落とした場合に拾いやすく、中身を守ることができます。

書類に穴をあけて留め具で綴じておく“フラットファイル”は比較的薄く、複数冊持ちやすいため重宝しています。しかし、書類の抜き取り作業にはスペースが必要で、手間取ることもあります。

いっぽう、「手で持てないほどファイルが分厚い」「車いすがどうしても通れない場所に、目的の書類がある」など私ひとりで対処するのが困難な場合があるのも事実です。仕事を進めるなかで、私の困りごとに寄り添って助けていただけることのありがたさを日々感じています。(小鹿)

ユニバーサルスポーツの紹介

【パラトライアスロン】

パラトライアスロンは、スイム(水泳)とバイク(自転車)、ラン(陸上)で構成され、3種目のタイムの合計で競います。距離の設定は、スイムが0.75km、バイクが20km、ランが5kmで、それぞれトライアスロンの半分です。

選手は、身体の機能に応じて車いす・肢体不自由・視覚のクラスに大別されます。視覚障害がある選手との伴走をする「ガイド」や、車いすを使用する選手の準備を手助けする「ハンドラー」といった、競技のサポートを担う人もレースの鍵になっています。競技にあたっての工夫もクラスごとにさまざまです。たとえば、バイクではガイドとの2人乗りや、義足をつけて乗るための調整が認められています。

また、コースを走る間だけでなく「トランジション」という種目間の準備時間もタイムに含まれるのが大きな特徴で、道具の置き場所などの規定に違反すると、レース中の一時停止を課されて記録に加算されてしまいます。第4の種目ともいわれるトランジションを含め、体力と集中力が試される競技です。

ボランティア保険のご案内

● ボランティア活動保険

ボランティア活動中に、自身がケガをした(傷害事故)、他人にケガをさせてしまった、他人の物を壊してしまった(損害賠償事故)などの事故を補償する保険です。

☑ 年間保険料

	Aプラン	Bプラン	Cプラン
基本プラン	250円	300円	500円
天災プラン	400円	500円	800円

補償期間

2026年4月1日から2027年3月31日までの1年間
※年度途中に保険加入の方は加入手続完了日の翌日から2027年3月31日まで

天災プランとは 地震・噴火・津波によるケガも補償するプランです。

● ボランティア行事用保険

ボランティア活動に関する各種行事における主催者および参加者のケガや賠償責任を補償する保険です。

☑ 保険料

日帰り				宿泊
A行事	B行事	C行事	現地集合行事	1泊2日～
30円	127円	248円	30円	222円～

補償期間

行事開催期間中

★受付窓口：本部・尾西支部・木曾川支部

?応募!クイズ

図書カード
¥1,000

赤い羽根作品コンクールは今年で第何回でしょう?

ヒント5ページ

ご応募いただいた方の中から抽選で5名の方に図書カード(1,000円分)をプレゼントします!ハガキもしくは下記応募フォームのいずれかでご応募ください。ハガキの場合は①クイズの答え②本紙に対するご意見・ご感想③住所④氏名⑤年齢を明記ください。

【2026年6月30日(火)まで(消印有効)】

〒491-0858 一宮市栄3-1-2 尾張一宮駅前ビル4階(一宮市社会福祉協議会内)

「いちのみやの社会福祉」編集係あて
応募フォーム

<https://forms.gle/Y3ahwFbQBKPs2AST8>
2月号クイズ当選者発表(応募総数148件)

松原様(木曾川町)鈴木様(大和町)平川様(萩原町)

川島様(大徳)野々垣様(今伊勢町)

クイズの答え:災害



老後の不安・相続問題等お困り事は
弁護士にご相談ください



成年後見申立・後見人、任意後見、財産管理等、高齢者や障害者へのサポート、遺言・死後事務委任等の相続対策を行います。お一人様の相続対策についてもお気軽にご相談下さい。

弁護士法人一宮総合法律事務所

代表社員 弁護士 野村 一磨

一宮市神山1-1-6のむらビル3階 電話0586-43-3800

相続税対策は早めがカギ!



大切な財産と家族の未来を守る

- ☑ 相続税の試算はお済みですか?
- ☑ 税理士が節税のコツを解説!
- ☑ 贈与と相続のどちらが得か?

相続に強い地元の税理士にお任せください

税理士法人
ベストフレンド
一宮市森本二丁目26番5号

初回相談無料

☎0586-24-5775

